

Fujisawa SST みんなモビ / 湘南ハコボ



「みんなモビ」で利用できる電動アシスト自転車。背後はFujisawa SSTの商業施設「湘南T-SITE」



(上) FSSTに設置されている電動アシスト自転車シェアリングステーション
(下)「みんなモビ」アプリのマイクロモビリティ画面(ログイン、予約、解錠)

(中左) FSSTコミッティ主催の住人ワークショップの様子
(中右) ワークショップで行われた電動キックボード試乗会

人の生活圏=Last 10-mileの「移動」のあり方を見直す

Fujisawa SST (FSST) は、先進的な取り組みを進めるパートナー企業と藤沢市の官民一体の共同プロジェクト。ここでは、次世代型自治組織「FSSTコミッティ」が、環境保全や安全・安心なまちづくりなどの活動も担う。このコミッティの声を具現化するのがFujisawa SSTマネジメント株式会社(TMO)。

今回、モビリティ関連サービスを請け負う株式会社サンオータスと連携して、TMOが提供を始めたのが、移動シーンに応じて多様なモビリティから最適なものを選択し、効率良く便利に移動できる、みんなのモビリティサービス「みんなモビ」。これまでのシェアリングサービスはモビリティごとに予約システムが別で、キーの受け渡し業務も必要だった。「みんなモビ」では予約システムをアプリで

一元化し、解錠・施錠もアプリから可能にすることでキーの受け渡しをなくし、24時間利用を可能にした。また、モビリティの再配置や充電などの作業を住人に手伝ってもらう機能も用意し、運営業務を軽減しながら住人同士の助け合いを促し、「みんなモビ」に愛着を持たれる工夫もこらしている。「みんなモビ」のサービス開発にあたっては、FSSTコミッティ主催のモビリティをテーマとした

住人ワークショップが定期的に開催され、その意見を反映しながら、利便性の向上が図られる。開発をサポートしたパナソニックホールディングス株式会社 モビリティ事業戦略室の豊北 幸弘は「『人の生活圏=Last 10-mile』までくらしの視点を広げ、『移動』のあり方を見つめ直して、コミュニティの可能性を切り開こうとしている。ここで得た知見を、他のまちにも展開していきたい」と語る。



Fujisawa SST (サステナブル・スマートタウン)

■みんなモビ
所在地 / 神奈川県藤沢市辻堂元町
事業主 / Fujisawa SSTマネジメント株式会社
サービス開始 / 2022年5月



1人の遠隔監視・操作で 複数台の搬送ロボットを制御

パナソニックは、Fujisawa SST (FSST) において、住宅街向け配送サービスの実証実験を2020年11月に実施。遠隔監視・操作を行う自動搬送ロボットを、日本で初めて住宅街で走行させた。2021年3月には、FSST内にある薬局から患者の家まで処方箋・医薬品を届ける、屋外でのロボットによる配送を行った。この際は、1人のオペレーターが遠隔監視しながら、複数台のロボットを同時に公道で自動走行させた。これも国内初。2台同時走行にあたっては神奈川県警および藤沢警察署の公道審査を経ている。さらに2022年4月には、ロボット近傍に配置していた保安要員を不要とした、フルリモート型の公道審査に合格。1名による遠隔監視・操作で自動搬送ロボット4台のフルリモート型運用を国内で他に先駆けて実現した。FSSTは信号機のない横断歩道があり、狭い道路や湾曲した道路も多い。自動車やバイク、自転車が混在し、小さな子どもも通行する。このため、複数台の自動搬送ロボットを遠隔監視するにはオペレーターの負担も大きい。これを解決するため、自動搬送ロボット本体に複数のセンサとAIカメラを搭載し、運行中の映像や位置情報を学習。この情報を用いて路上の小さな物体なども見逃さず、遠方のクルマや自転車なども早期に検知してオペレーターの監視を支援している。

さらに、FSSTの住人からの名称公募により「湘南ハコボ」と名付けられた自動搬送ロボットで、2022年5月、商業施設「湘南T-SITE」や近隣店舗の商品を住人に届ける実証実験も開始した。今後は自動搬送ロボットが電動車いすと同じく歩行者扱いとなり、歩道走行が可能となる見込みで、FSST以外の住宅地でもサービス提供が広がることが期待される。

現在、宅配業務やフードデリバリーの需要増に対する労働力不足があり、コロナ禍による非対面のニーズも高い。これらの課題を低コストで解決する、フルリモート型のロボット配送サービスへの期待は高まっている。

◀ (上) 店舗で待機している自動搬送ロボット
(下) 信号のない横断歩道を走行する自動搬送ロボット

Fujisawa SST

■ ロボット配送サービス
所在地 / 神奈川県藤沢市辻堂元町
事業主 / パナソニックホールディングス株式会社 モビリティ事業戦略室
実証開始 / 2020年11月



商業施設から弁当を受け取る



住人に弁当をお届け



2022年5月から実証を開始した「湘南ハコボモール」では、スマートフォンのLINEアプリで商品を注文

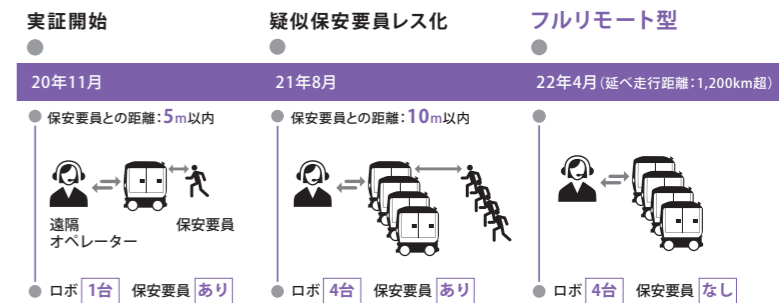


1名で複数台を運用する遠隔監視システム



AIが飛び出しや障害物を検知し
自律走行する自動搬送ロボット

遠隔監視・操作者1名でロボット4台を運用するフルリモート型を実現



主な納入設備

- 自動搬送ロボット「X-Area Robo」
- 遠隔管制システム「X-Area Remote」

Panasonic
Mobility
Solutions

